

患者さんパンフレット

四国がんセンター
呼吸器内科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、
最良の状態で治療が受けられるようお手伝いいたします
- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、
安全に治療を続けることができるようお手伝いいたします



オプジーボ療法を受けられる

_____さま

主治医/担当医 []

受け持ち看護師 []

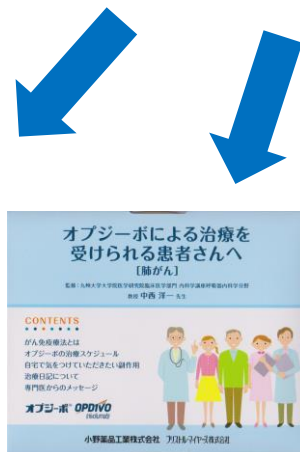


Shikoku
Cancer Center

2016年11月2日 作成
2022年5月31日 改定

オプジーボ療法について

治療前日までに薬剤師よりお薬について説明があります
治療中は、このパンフレットと薬剤師より配布される「オプジーボの冊子」を毎日見るようにしてください



DVD



パンフレット
がん免疫療法について



パンフレット
高額療養費制度について

オプジーボ使用中に気をつける症状

オプジーボ投与に
注意が必要な方

間質性肺炎と診断されたことがある方
自己免疫疾患と診断されたことがある方

オプジーボの点滴後に以下のような症状が起こることがあります。
症状がみられたら、医師へ相談してください。
特に下線を引いた症状が発現した場合はご注意ください。

- いつもより疲れやすい(倦怠感)、
体重の増減、行動の变化がある
(性差がある、いらいらする、寝られずいなど、
からだのだるい)
▶ 呼吸器、下腹部、乳房など内臓臓器異常の
徴候がみられます。
- めまい、動悸、脈拍の異常、
意識の低下
▶ 心臓障害の徴候がみられます。
- 皮膚や白目が黄色くなる
▶ 肝臓障害の徴候がみられます。
- 尿量が減る、血尿が出る、
むくみが強い
▶ 腎臓障害の徴候がみられます。
- 口渇、多飲、多尿
▶ 血糖値の異常の徴候がみられます。
- 運動のまひ、感覚のまひ、
手足のしびれ、手足の痛み
▶ 神経障害の徴候がみられます。
- 息苦しい、足・腕に力が入らない、
ものが二重に見える
▶ 重症筋無力症、眼炎を起こすことがあります。
- 嘔吐、体の痛み、精神状態の変化
▶ 腸炎の徴候がみられます。
- 白班、白髪(主にメラノーマの患者さん)
▶ 肌や髪に色素がみられることがあります。
- 腫れ、むくみ、胸の痛み
▶ 肺動脈圧高値の徴候がみられます。
- 痰の多い乾いた咳が出る、
歩行時などに息が切れる
▶ 間質性肺炎の可能性がみられます。
症状がみられたら、医師に相談します。
ご相談ください。
- 血便・黒い便が出る、
腹痛を伴う下痢
▶ 大腸炎の可能性がみられます。
- 皮膚がかゆい、発疹が出る
▶ 皮膚障害がみられることがあります。
- 水ぶくれが出る、ひどい口内炎
▶ 重症の皮膚障害の可能性がみられます。

肺、肝臓、腎臓、皮膚などに対する
過剰免疫反応により発熱することがあります。

京都山形立医科大学 呼吸器内科・腫瘍内科 教授 山本 信之 先生

オプジーボ使用中に
気をつける症状について

オブジーボ療法の冊子について



目 次

がん免疫療法とは？	4
オブジーボってどんな薬？	6
どんな人がオブジーボの治療を受けられるの？	8
治療スケジュール	9
オブジーボの特に注意すべき副作用	10
間質性肺疾患	10
重症筋無力症、筋炎	12
大腸炎、重度の下痢	12
1型糖尿病	12
肝機能障害、肝炎	13
甲状腺機能障害	13
神経障害	13
腎障害	14
副腎障害	14
脳炎	14
重度の皮膚障害	15
静脈血栓塞栓症	15
薬剤の注入に伴う反応	15
注意が必要なその他の副作用	16
ご注意	17
治療中の妊娠と授乳について	19
治療日記（記入例）	20
治療日記	22

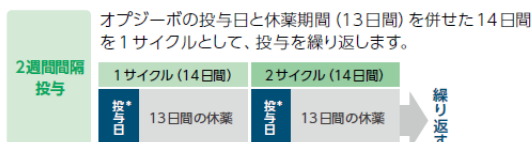


治療スケジュール

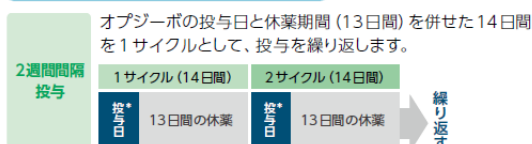
オブジーボは、静脈から1時間以上かけて点滴注射で投与します。投与量は、患者さんの治療歴や体重によって決まります。

投薬スケジュール

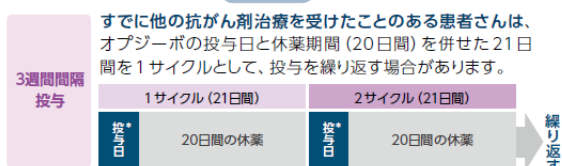
非小細胞肺癌、腎細胞がんの場合



悪性黒色腫の場合



または



*: オブジーボ投与日

治療日記について

治療日記

月 / 日	3 / 3	3 / 4	/	/	/	/	/
曜 日	月	火					
オプジーボ投与	○	×					
診察の有無	○						
体温 (℃)	36. 5	36. 8					
体重 (kg)	62. 0	61. 7					
空 咳*							
息切れ・息苦しさ*							
発 熱*							
食欲不振							
吐き気/嘔吐							
黄 疸	○少						
むくみ							
かゆみ							
発 疹		○手					
白 斑							
疲れやすい							
筋肉痛							
めまい							
ものが二重に見える							
まぶたが重い							
下 痢	○強						
血 便							
腹 痛		○弱					
足、腕に力が入らない							
のどが渇く							
水をよく飲む							
医師への連絡							
メモ (その他の症状や気になることがあればお書きください)							

- * 治療前より20、21ページにある「記入例」を参照し、書いてみましょう
- * 治療開始から治療終了まで使用します
- * 記載のページがなくなれば医療スタッフにお伝えください

オプジーボ使用中に気をつける症状

オプジーボ投与に
注意が必要な方

- 間質性肺炎と診断されたことがある方
- 自己免疫疾患と診断されたことがある方

オプジーボの点滴後に以下のような症状が起こることがあります。
症状がみられたら、医師へ相談してください。
特に下線を引いた症状が発現した場合はご注意ください。

いつもより疲れやすい(倦怠感)、
体重の増減、行動の変化がある
(性欲が減る、いらいらする、物忘れしやすいなど)、
からだがだるい

▶ 甲状腺、下垂体、副腎など内分泌機能異常の
確認が必要です。

めまい、動悸、脈拍の異常、
意識の低下

▶ 心臓障害の疑いがあります。

皮膚や白目が黄色くなる

▶ 肝障害の疑いがあります。

尿量が減る、血尿が出る、
むくみが強い

▶ 腎障害の疑いがあります。

口渇、多飲、多尿

▶ 1型糖尿病の疑いがあります。

運動のまひ、感覚のまひ、
手足のしびれ、手足の痛み

▶ 神経障害の疑いがあります。

息苦しい、足・腕に力が入らない、
ものが二重に見える

▶ 重症筋無力症、筋炎を起こすことがあります。

嘔吐、体の痛み、精神状態の変化

▶ 脳炎の疑いがあります。

白斑、白髪(主にメラノーマの患者さん)

▶ 肌や髪に脱色がみられることがあります。

腫れ、むくみ、胸の痛み

▶ 静脈血栓症の疑いがあります。

痰のない乾いた咳が出る、
歩行時などに息が切れる

▶ 間質性肺炎の可能性があります。
症状がみられたら、風邪と思いこまず、
ご相談ください。

血便・黒い便が出る、
腹痛を伴う下痢

▶ 大腸炎の可能性があります。

皮膚がかゆい、発疹が出る

▶ 皮膚障害が起こることがあります。

水ぶくれが出る、ひどい口内炎

▶ 重症の皮膚障害の可能性もあります。

肺、肝臓、腎臓、皮膚などに対する
過剰免疫反応により発熱することがあります。

監修 和歌山県立医科大学 呼吸器内科・腫瘍内科 教授 山本 信之 先生

※玄関の内扉や冷蔵庫などの目につきやすい場所に貼ってください。

緊急連絡先	電話番号	
	病院名	
	担当医	

オプジーボ使用中に気をつける症状

オプジーボ投与に
注意が必要な方

- 間質性肺炎と診断されたことがある方
- 自己免疫疾患と診断されたことがある方

オプジーボの点滴後に以下のような症状が起こることがあります。

症状がみられたら、医師へ相談してください。

特に下線を引いた症状が発現した場合はご注意ください。

呼吸器

- 歩行時などに息が切れる
- 息苦しい
- 痰のない乾いた咳(空咳)が出る

循環器

- 動悸
- 脈拍の異常

筋肉・神経系

- 足、腕に力が入らない
- 運動のまひ
- 感覚のまひ
- 手足のしびれ
- 手足の痛み

消化器

- 便に血が混じる、便が黒い
- 嘔吐がある
- 腹痛を伴う下痢

泌尿器

- 尿の量が減る
- 血尿が出る
- 尿の量が増える

皮膚

- 皮膚や白目が黄色くなる(黄疸)
- 白斑
- かゆみや発疹
- 水ぶくれが出る

その他

- いつもより疲れやすい(倦怠感)
- 体の痛み
- 行動の変化がある(性欲が減る、いらいらする、物忘れしやすい等)
- 体重増加あるいは体重減少
- むくみが強い
- のどが渇く
- 水を多く飲む
- 体がだるい
- 精神状態の変化
- ひどい口内炎
- 腫れ、むくみ
- 胸の痛み
- ものが二重に見える
- めまい
- 意識の低下

肺、肝臓、腎臓、皮膚などに対する過剰免疫反応により発熱することがあります。

監修 和歌山県立医科大学 呼吸器内科・腫瘍内科 教授 山本 信之 先生

※玄関の内扉や冷蔵庫などの目につきやすい場所に貼ってください。

緊急連絡先

電話番号

病院名

担当医

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、日々の目標として患者さんご自身の目標をかせ、よりよい状態で退院を迎えられるよう医療スタッフの目標もあげています

入院は約1週間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすまないこともあります、その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます



入院日 月 日



今日の目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

11:00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定
12:00	昼食	・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・血液検査、尿検査、胸部レントゲン ・薬剤師より抗がん剤治療の説明があります ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食	<お薬> ・他の病院で処方されたお薬については、一度お預かりし医師の指示を確認後、続けるか、中止するかをお伝えします <食事> ・特に制限はありません
21:30	消灯	・治療食以外の方は選択食となっています ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないよう支援します





今日の目標

- ・抗がん剤治療について医療スタッフの説明が理解できる

<時間> <予定>

6:00	起床、検温	・看護師より治療の流れ（スケジュール）と副作用について説明があります
7:30	朝食	・薬剤師より薬の説明があります
10:00	検温	
12:00	昼食	
18:00	夕食	・DVDを視聴します 部屋にDVDプレイヤーがない方は看護師がお持ちします お声がけください
19:00	検温	
21:30	消灯	・治療前日のため、入浴をしておきましょう



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・抗がん剤治療に対する不安や心配ごとがないよう支援します



入院中の生活の注意点

- 感染予防のためにマスクを着用しうがい、手洗いを行いましょう
- 口の中は清潔にするよう心がけましょう
- 点滴をしている間は、排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- 膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら我慢をせずにトイレに行きましょう
- 排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください



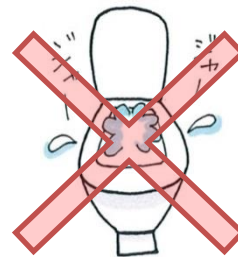
抗がん剤治療後の注意点

抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは尿や便などから抗がん剤が排出されます。それらに直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう。

- ◆ 男性の方は飛び散り防止のため、
座って排尿しましょう



- ◆ 尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう
- ◆ トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を2回流しましょう



フタをして水を
2回流しましょう

- ◆ トイレのあとは石けん等でよく手を洗いましょう
- ◆ 尿や吐いてしまったもので汚れた洗濯物は、ほかの洗濯物と分けて洗濯するとよいでしょう



今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 転倒しない

<時間>

<予定>

6:00 起床、検温

7:30 朝食

10:00 検温

医師または研修を受けた看護師が、医師の指示のもと点滴を開始します

①生理食塩水 【約5分】

②抗がん剤 【 分】

③生理食塩水 50ml 【約5分】 点滴が終了したら針を抜きます

※アレルギー症状の早期発見のため点滴中は頻繁に伺います

※事前にトイレは済ませましょう

12:00 昼食

14:00 検温

16:00 体重測定

18:00 夕食

19:00 検温

21:30 消灯

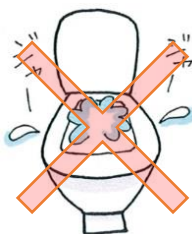
点滴中はトイレなどの歩行時に注意しましょう
点滴台を支点にして歩くと転倒する可能性がありますので、点滴台は支点にしないようにしましょう

• 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
• 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪い、体がかゆい、咳が出るときは、我慢せずお知らせください



体調に合わせて体を拭いたりシャワー浴をしましょう
看護師がお手伝いしますので、いつでも声をかけてください

食事を変更したい、着替えがしたいなど看護師へ相談ください



フタをして水を2回流しましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・治療内容について理解できる
- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床、検温

7:30

朝食

10:00

検温

12:00

昼食

- ・針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- ・息が苦しい、吐き気など気分が悪い、体がかゆい、体が痛い、咳が出る、下痢をするとき、は、我慢せずお知らせください

18:00

夕食

19:00

検温

21:30

消灯

体調に合わせて
体を拭いたり
シャワー浴を
しましょう



食事を変更したい、
着替えがしたいなど
看護師へご相談ください



抗がん剤投与2～3日目は
フタをして水を
2回流しましょう

- ・オプジーボの副作用症状は遅めに出ると言われています
- ・薬剤師にもらった冊子の「治療日記」は毎日記入しましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





抗がん剤投与8日目～退院前日 月 日～ 月 日

今日の目標

- ・退院後の日常生活について理解できる
- ・退院後の日常生活で不安なことを医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床、検温

7:30

朝食
採血

10:00

検温

【退院前日】

看護師より退院当日の流れと、退院後の日常生活の注意点について説明があります

- ★外来治療についてのオリエンテーションがあります
- ★通院治療室についての説明と見学があります
(初回外来通院となる場合は一度は見学をお勧めします)

12:00

昼食

シャワー浴を
しましょう



18:00

夕食

19:00

検温



退院後の日常生活や外来受診のことなど気になることがあれば遠慮なく看護師にお尋ねください

21:30

消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院の準備をすすめられるよう支援します



退院日 月 日



今日の目標
・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温

7:30

朝食

退院時入院料金連絡票をお部屋までお持ちします
2階窓口でお支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください
次回外来予約票をお渡しします

お預かりしているお薬、退院のお薬がある場合はお渡しします

10:00

退院
退院前にお忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診日は

月 日 () 時の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります
(状況に応じて検査があります)

※通院治療室に行かれるときにはこのパンフレットをお持ちください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
・退院後の日常生活に不安がないよう支援します



退院後の日常生活について

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうようなときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう



●排泄

毎日排便があるようにしましょう
軽い運動や水分をとるようにしましょう

副作用の一つに下痢があります

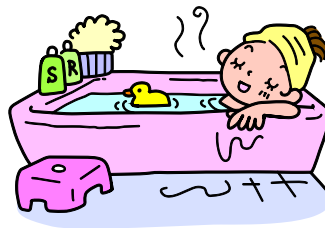
- ・下痢のときは白湯などの水分を十分に補給してください
- ・下痢の症状があっても、水分は1000ml以上は摂取しましょう
- ・水分を控えることは逆効果になります
- ・下痢の場合、安易に下痢止めは使わず、病院へ連絡してください

●発熱

37.5度以上の熱がでた場合は、医師の指示どおりに抗生剤や解熱剤を服用しましょう
服用しても熱が続く場合は、がん相談支援センターにご相談ください

●入浴

特に制限はありません
今までどおりでかまいません



●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう
外出時は、**マスクを着用**し、帰宅時にうがい・手洗いをしましょう



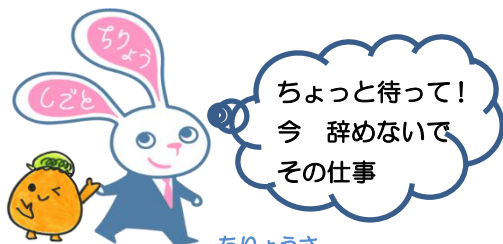
運動や趣味の活動を行ううえで迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

●仕事

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています

私たちと一緒に考えていきましょう



厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

・医療ソーシャルワーカー、看護師

＜出張相談＞

・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター

・両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

●お薬

お薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください

他の病院のお薬を服用する場合は、医師に相談してください



●高額医療費について

オブジーボ療法は、高額な治療になります
オブジーボの冊子内に高額医療費について
パンフレットが入っています（右写真参照）

不明な点があれば、入院中は看護師へ、
退院後は相談支援センターへお尋ねください



わからないこと、心配なことがあれば
遠慮なくお尋ねください

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

①受付



Bブロック

②採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血場所や注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血してもらってください



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③診察受付

A、B、C、S各ブロック

Aブロック

Bブロック

Cブロック

Sブロック

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
精神腫瘍科
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④診察

乳腺科
婦人科
形成・再建皮膚腫瘍外科
頭頸科・甲状腺腫瘍科

消化器科
糖尿内科
循環器科
皮膚科
眼科
リンパ浮腫

治療決定

Sブロック

⑤治療
通院治療室

外来では、
看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

他の診療科で診察のある方は、各診療科受付へ

予約センターは
B受付の隣です



⑥会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

会計終了後に処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行いますので、少しお時間を頂きます。
- ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料でご利用できます。また、ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。但し、ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- ご家族の待機場所は、「暖だん」や「図書コーナー」などがありますのでご利用ください。必要時には、付き添うこともできます。
- 副作用や日常生活で困っていることなど、相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。





オブジー療法の冊子10～16ページ
「オブジーボの特に注意すべき副作用」
「注意が必要なその他の副作用」に
記載されている症状が出たとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30～17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30～17:15
(直通番号) 089-999-1112

